

# あんしんして 暮らせるまちを 目指して

中学生記者が  
取材しました!

Let's  
頑張ろう!



北区では、地域の高齢者が安心して生活できる環境をつくろうと、町内会などがさまざまな取り組みを行っています。今回は、3人の中学生広報記者がその様子取材しました。



声掛けをする黒田女性部長（左）と春原社会部長（中）

「最近お変わりありませんか？」  
玄関先で声を掛けるのは篠路五ノ戸町内会（春原良三会長）の皆さん。地域の高齢者世帯を訪問し、体調などに変化がないか尋ねます。「高齢になるとどうしても外出が減り、周りとのつながりも薄れてしまいます。直接訪ねることで、ちょっとした変化も見逃さないようにしています」と話

独りにさせないために

## 声掛けで地域をひとつに

すのは、黒田女性部長と春原光子社会部長。高齢者の孤立を防ぐ活動をしています。

地域を包む安心感

この日は、3軒の高齢者世帯を訪問しました。「声を掛けてもらうと地域の方に見守られていることが実感でき、とても安心できます」と、皆さん教えてくださいました。

「地域の方を見かけたらいさつをする。当たり前のことの積み重ねで、活動に対する理解が得られました」と、



笑顔で話す町内会の皆さん。そこには、地域を包む安心感がありました。



声掛け活動を取材する見込記者（右）

### 笑顔の秘密を発見

篠路五ノ戸町内会の方々は「見守り活動」とは呼ばず「声掛け活動」と呼んでいます。「お互い声を掛け合って元気を分けてもらっているんだよ。だから見守り活動とは呼

ばないんだよ」と教えてくれたのは春原会長。皆さんの笑顔の理由を見つけました。この「声掛け活動」が町内会行事に参加するきっかけになるなど、思わぬ効果もあったそうです。